

なごみ

令和二年八月

題字 (特養)利用者

周防 和衛様

夏本番

長すぎた梅雨がようやく終わりの、短い夏がや



うとでもしているかのよう、連日、酷暑ともいえるような暑さが続いています。日本では一旦は落ち着いてかのように思えた新型コロナウイルスの流行も、再び感染者が増えている状況です。現在、特養・グループホームでは面会制限をさせていただいており、ご家族並び、ご利用者の皆様にはご不便とご心配をおかけいたしておりますが、感染症対策へのご理解、ご協力心より感謝いたします。さて、本来ならば例年八月初旬に宝塚ちどり最大のイベント「納涼祭」を開催しておりますが、これも感染症予防の観点から今年開催を見送りました。そんな状況の中、本

紙「なごみ」や館内でのイベントを通じて少しでもご利用者が楽しめるよう、季節を感じる事ができるよう取り組んでまいります。

(杉本)

なべらーちゃんぷるー

先月号のなごみの「屋上の(ちどりファーム)」の記事でお伝えしていた、なべらー(ヘチマ)料理をお出ししました。発端は、昨今の頃ご利用者へ何か食べたいものないですか？と伺ったところ「なべらー、なべらー」と言われたことから。なべらーがわからず、職員がインターネットで調べてみたところ、ヘチ



まのことを沖縄ではなべらーという事が判明。ご利用者からのリクエスト食としてお出ししようと思った

のですが、厨房では発注しよ



うにもへちまの取り扱いがなく、断念：それなら苗から育てようと、厨房のスタッフさんと栄養士が屋上でへちまを育ててくれることとなったのです。

そして約一年の歳月が流れ七月、大きく育ったへちまを収穫、それを使用しちゃんぷるーを作ってくれました。普段は少食のご利用者ですが、なべらーを提供すると笑顔で「美



美味しい」と仰り、全て食べて下さいました。他のご利用者からも何かリクエストがあれば、今度はユニットで作れればと思います。

(長田)

ふるさと御膳

毎月のふるさと御膳と言うネーミングで全国各地の郷土料理を献立に取り入れています。七月は長野県の郷土料理にチャレンジしました。

くお品書きく

- ・ ご飯
- ・ 鶏の山賊焼き
- ・ やたら
- ・ 玉子と野沢菜の炒め物
- ・ 冷やしそば

山賊焼きは

鶏肉をんにくのきいたタレで味付けし、骨付き足を丸ごと豪快に揚げた料理でサクサクの衣が特徴です。通常骨



付き肉をお出しすることはありませんが、今回ぐらいは：！と、普通食の方には事前に聞き取りを行い、希望者には骨付きのまま提供しました。やたらは、なす・きゅうり・みょうがなどの野菜を小さく切って醤油ベースで味付けしたもので、「やたらとなんでもいれるから」やたらに刻むから「やたらに美味しいから」等の理由でこの名がついたそうです。その他、名産の野沢菜やおそばも取り入れ、大変ご好評頂きました。その土地ならではの料理は、本来、その土地に直接足を運び、その場の空気や水と共に味わってこそ初めて「本当に味わう」事が出来るものかもしれません。可能な限り忠実に再現することでこの企画がより魅力的なものになるよう取り組んでいきたいと思えます。(仲田)

デイサービス

デイサービスでは、七月におやつレクとしてアマビエクッキーを作りました。アマビエとは、疫病を払ってくれるという今話題の妖怪です。長髪の人魚のようで、胴体には魚のようなウロコ、くちばしをもち、三本足で立つと言われている。ご利用者にアマビエの押し型でクッキー生地をくりぬいていただき、職員が焼き上げました。おいしそうな焼き色のクッキーを見て、「きれいに焼きあがったね」、「厄除けになるね」と皆さん喜んでおられました。「これを食べて無病息災！！」と願いながら、おいしく頂きました。余談ですが、ある職員は予定表をみて「甲殻類アレルギーが心配ですね」と一言。「アマビエ」を「アマエビ(甘えび)」と読んだようです(笑)(長谷川)



動画観賞会

コロナ禍で外出レクリエーションや大掛かりなレクリエーション等が制限されている中、ご利用者が少しでも楽しい気分になれるようにと、鶴の荘・亀井荘ユニットでは不定期ではありますが、インターネットサービスをを用いて動画鑑賞会を実施しています。パソコン一台と食堂の三十二型テレビをHDMIケーブルで接続するだけでテレビがモニターに早変わり、視聴環境は整います。



特に人気のある動画は歌謡コンサートです。DVDに録画されたものと違って、ご利用者の好きな歌手を検索するだけで、毎回違った映像を楽しむことができるので、皆様一緒に口ずさまれたりと好評です。

(小松)

グループホーム

最近、店先

でチョコバナナスイーツを見る事が増えました。何でかなあ?と思っているとは



月七日は「バナナの日」だそうです。ご利用者の皆さんにも召し上がって頂くかと思いきやミニバナナチョコパフェを作りました。バナナソースはスイーツ好きの職員が手作りしました。昼食を召し上がったばかりの皆さんですが、甘い匂いが漂うと「何作っているの?」「おいしそうな匂いやなあ」とキッチンに集まって来られました。盛り付けはご利用者の皆さんと一緒に



に行き、おやつに召し上がって頂きました。「食べるのもったいないな

あ」「なんぼでも食べられるわ」等と会話も弾み、皆さん楽しそうに食べておられました。(新井)

花火レク

八月五日夜、仁川・武庫川ユニットは屋上にて花火レクリエーションを開催致しました。今年は残念ながら納涼祭は中止になりましたが、ご利用者の方々に夏の気分を味わって頂く機会になればと思いいこのイベントを企画しました。



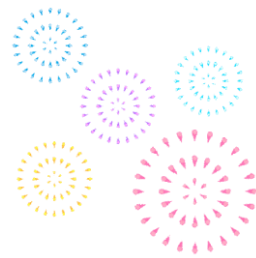
念のため、密を避ける為に数人ずつ時間をずらして行うこととしました。花火レクと言いましても手持ち花火(線香花火など)です。あるご利用者は「打ち上げ花火を屋上で見るかと思ったわ」と笑っておられました。実際に手で持ってみると「わあ、綺麗だね。すごい懐かしい気分やわ」と笑顔で楽し

まれていました。花火を見ながら踊る方もいらっしやいました。多くの方が喜ばれていたので大変嬉しく思いました。(村上)

サマーなぞなぞ

なぞなぞで脳をフル回転して頭を柔らかくリフレッシュしましょう!!

今月は夏に関するなぞなぞを集めてみました。



一・夏になると涼しい場所に行く人の職業ってなーんだ?

二・画家のゴッホが暑い夏の日にいったい何をしていたものがあります。それってなーんだ?

三・羽鳥さんと香取さんが自転車レースで競争。先行したのはどっちでしょう?

四・しそと梅が入ってる麺料理な

んだ? (答え2つ)

五・夏は緑の大じゅうたん、秋は金色の大じゅうたん。これなーんだ?

《答え》

- 一・秘書 (避暑)
- 二・汗
- 三・香取さん (蚊取り線香)
- 四・流しそうめん・冷やしそうめん
- 五・田んぼ

せみしぐれ

夏本番を迎え、蝉の鳴き声で目覚める毎日です。朝食の準備の際「今日も鳴き声が凄いな」と話していると、ある職員から蝉の種類が色々あり、それぞれ鳴き声が違う事を教えてもらいました。子供の頃の夏休みの自由研究を思い出し、ご利用者と一緒に蝉の鳴き声について調べてみました。蝉の種類によって鳴き声が違うだけではなく、時間帯も違う事が分かりました。

一日の流れの中で、それぞれの蝉が良く活動する時間を紹介させて頂きます。早朝五時〜七時はヒグラシ

(カナカナ)、六時〜十時はクマゼミ(シヤアシヤア)、七時〜十一時はミンミンゼミ(ミンミンミン)、十一時〜午後十七時頃まではアブラゼミ(ジージジジ)、十四時〜十七時頃は(ツクツクボウシ)、日も暮れ夕方十八時頃からはまたヒグラシ(カナカナ)、といった活動時間の違いがある。

ことのできることです。

調べ

てみてから毎日

鳴き

声を聞き分けようとしているのですが、ミンミンゼミしか、はっきりとは分からず…。新型コロナウイルス感染予防と熱中症予防の為、外出が難しい毎日ですが、皆さんもお部屋の中で楽しめる事を探してみたいかがでしょうか? (新井)

